

(業務例-②) (精神)

チーム名	せん妄ケアチーム	
チームを形成する目的	治療やケアの充実を図ることで、早期にせん妄から回復し、原疾患治療への専念を目指し、また、治療やケアシステムの構築・整備・実施・評価を行う	
チームでの薬剤師の役割 (認定・専門薬剤師の関与)	使用薬剤の副作用や注意点、薬物動態、薬物相互作用についての情報提供、せん妄誘発薬の探索、処方の提示	
① 医療の質	アウトカム評価	抗精神病薬の適正使用、状況に合わせたケア内容の見直し
	プロセス評価	薬剤情報及びケアの共有
	ストラクチャー評価	使用薬剤一覧表の作成、カンファレンス実施
② 患者の視点	アウトカム評価	薬剤投与量の調整とケア内容の修正、患者 QOL・安全性の向上
	プロセス評価	回診後の患者訪問、薬剤評価、ケア内容の見直し
	ストラクチャー評価	回診後のサポート体制の充実
③ 医療スタッフの視点	アウトカム評価	チームメンバー以外の知識・技術の向上
	プロセス評価	チーム内で得た知識・技術の各部署への普及と情報の共有化
	ストラクチャー評価	勉強会や事例検討会の実施とケアシステムの構築
④ 経済的視点	アウトカム評価	病院収益
	プロセス評価	精神症状の評価等に係る回診を実施
	ストラクチャー評価	精神科リエゾンチーム加算の算定と入院精神療法加算の算定
具体的な成果・効果	<p>1) 回診実績 (回診対象者) : 平成 20 年度 479 名、平成 21 年度 470 名、平成 22 年度 440 名、平成 23 年度 506 名、平成 24 年度 562 名</p> <p>2) 回診開始 1 年後の病棟への質問紙調査 : 「せん妄予防への意識が高まった」、「せん妄を相談できる安心感が生まれた」等が明らかとなった</p>	
成果等を発表した学会	<p>1) 内川晶裕ほか, せん妄発症時のスムーズな対処を目指して～看護師との相互協力および処方薬への関わり～.第 29 回日本病院薬剤師会近畿学術大会要旨集, 218 (2008)</p> <p>2) 内川晶裕ほか, チームで取り組むせん妄対策～看護師と薬剤師との相互協力～.第 3 回医療の質・安全学会学術集要旨集, 278 (2008)</p> <p>3) 内川晶裕ほか, 「せん妄で困っていませんか?」～せん妄回診 5 年の歩み～.第 32 回日本病院薬剤師会近畿学術大会要旨集, 195 (2011)</p> <p>4) 内川晶裕ほか, 大腿骨頸部骨折患者のせん妄に対する和漢診療の有効性についての検討.第 33 回日本病院薬剤師会近畿学術大会要旨集,93(2012)</p> <p>5) 内川晶裕ほか, 大腿骨頸部骨折患者への漢方薬を用いたせん妄治療の有効性に関する検討.第 22 回日本医療薬学会年会要旨集, 358 (2012)</p>	
成果等を報告した論文・雑誌	<p>1) 内川晶裕ほか, チームで取り組むせん妄対策～看護師と薬剤師との相互協力～.医療の質・安全学会誌 4(1): 75-85 (2009)</p> <p>2) 内川晶裕ほか, 「せん妄回診」における薬剤師の活動と役割拡大.看護管理 21(3): 230-231 (2011)</p>	